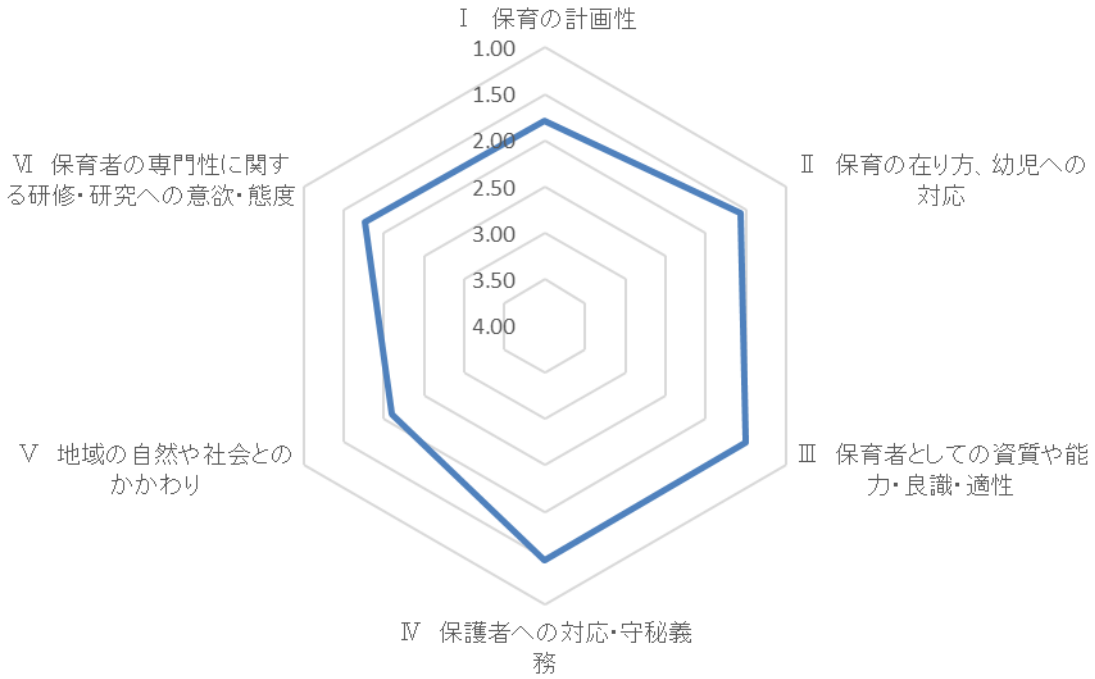
令和５年度　自己評価について

職員の自己評価は、令和６年１月 30 日から３週間の間に実施し、集計結果については下記のとおりとなりました。この結果をもとに、令和 6 年度の方向性を見い出し、よりよい教育及び保育を目指していきたいと思います。

Ⅰ　保育の計画性	1.78
Ⅱ　保育の在り方、幼児への対応	1.56
Ⅲ　保育者としての資質や能力・良識・適性	1.50
Ⅳ　保護者への対応･守秘義務	1.47
Ⅴ　地域の自然や社会とのかかわり	2.10
Ⅵ　保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	1.77



【評価方法】

1　よくできている　　2　まあまあできている

3　あまりできていない　　4　まったくできていない

Ⅰ　保育の計画性

１、園の教育・保育理念、教育・保育方針の理解	1.78
２、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解	1.75
３、全体的な計画(教育・保育課程)の編成と評価	1.74
４、指導計画の作成	1.83
５、環境の構成	1.66
６、保育と計画の評価・反省	2.13

【総評・今後の取り組み】

ほとんどの項目が１評価の中、6、保育と計画の反省では２の評価と、他項目に比べ低い。

園の方針等については、今後も 4 月に全職員で確認し合い、共通理解のもと、教育及び保育に当たるようにしていく。

子どもの発達や興味・関心に合わせた活動を計画することができているが、評価から計画に繋げることができない時もあったという声もあり、しっかりと行えるようにしていきたい。また、主体性を育む環境設定等、充実した遊びを提供していきたい。

今年度、初めて職員による公開保育を行った。次年度は回数を増やし、質の向上のために取り組んでいいきたい。

Ⅱ　教育・保育への在り方、幼児への対応

１、健康と安全への配慮	1.10
２、幼児のみとりと理解	1.56
３、指導とかかわり	1.65
〔心のよりどころとして〕	1.51
〔遊び・活動の援助者として〕	1.83
〔その他〕	1.67
４、保育者同士の協力・連携	1.62

【総評・今後の取り組み】

全ての項目で１の評価である。

子ども一人一人の思いを受け止め、かかわることができている。子どもの人権や不適切なかかわり等の園内研修を実施し、言葉がけやかかわり方については確認し合うことができた。今後も健康と安全に配慮し、子ども達の個性を尊重した教育及び保育の展開を図りたい。

Ⅲ　保育者としての資質や能力・良識・適性

１、専門家としての能力・良識・義務	1.46
［専門家としての能力］	1.58
［良識とマナー］	1.19
［義務］	1.73
２、組織の一員としての在り方	1.50
３、まわりを感じ取れる感性・アンテナ	1.70

【総評・今後の取り組み】

全ての項目で１の評価である。

その中の「義務」の内容には、整理整頓や締め切り・時間についてであったが、部屋の整理整頓や提出物の締め切り等、一人一人の意識で帰られる部分は、見直し、改善していく。

時代や環境の変化に応じて、教育・保育の内容も少しずつ変化してきているため、それに合わせた専門性や質の向上を目指していきたい。

Ⅳ　保護者への対応・守秘義務

１、情報の発信と受信	1.64
２、協力と支援	1.77
３、守秘義務の遵守	1.22
４、対応上のマナー・良識	1.49
５、クレームへの対処の仕方	1.14

【総評・今後の取り組み】

全ての項目で１の評価である。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、お迎え時は保育室まで入ることが可能となったため、以前よりも保護者とのコミュニケーションが増えた。今後もより一層、口頭やコドモン等の連絡ツールを活用しながら、保護者との情報交換に努めていきたい。

また、職員の勤務による保育体制についても、しっかりと情報が共有され、保護者に様子を伝えられるように、連携をしっかりとっていく。

Ⅴ　地域の自然や社会とのかかわり

１、地域の自然・人々とのかかわり	1.89
２、小学校との連携	2.01
３、地域の特徴を生かした保育の展開	2.95

【総評・今後の取り組み】

Ⅰ～Ⅵの項目の中で、一番評価の低さが見られた。「３，地域の特徴を生かした保育の展開」の中に高齢者とのかかわりという内容があるが、かかわりがないことがこの結果に繋がった。

小学校とのかかわりについては、今年度増え、交流することができた。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したが、まだ季節により、様々な感染症が見られる。今後も可能な範囲で、地域の方々との交流の場を設けていきたい。

Ⅵ　保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

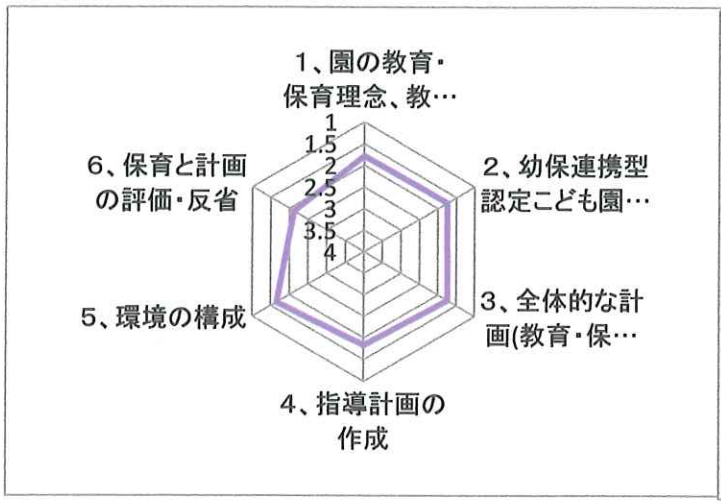
１、研修・研究への意欲・態度	2.11
２、遊具・教材に関する専門性の向上	1.57
３、園内の環境に関する専門性の向上	2.14
４、今日的課題に関する専門性の向上	1.43
５、自らを高めるための学習	2.09

【総評・今後の取り組み】

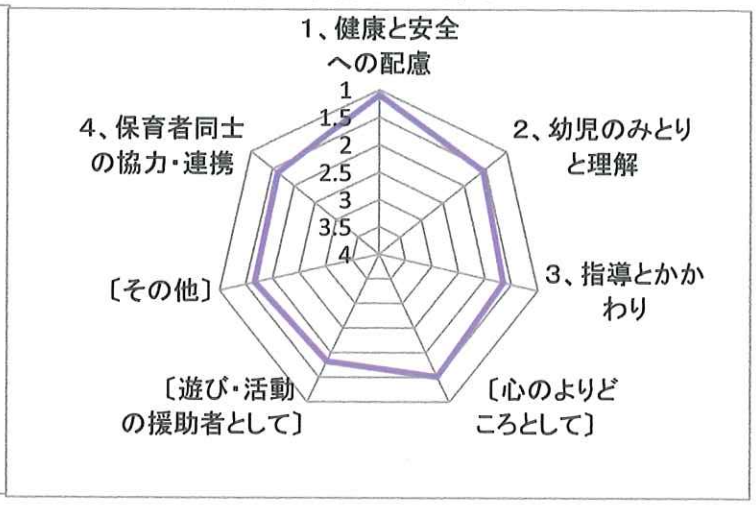
他項目に比べ、評価の低さが見られる。　自ら疑問に思ったこと等は、調べたりすることもあり、専門性の向上に努める職員も多い。

職員一人一人が余裕を持って教育及び保育にあたれるよう、業務の見直しや時間の有効活用を目指す。

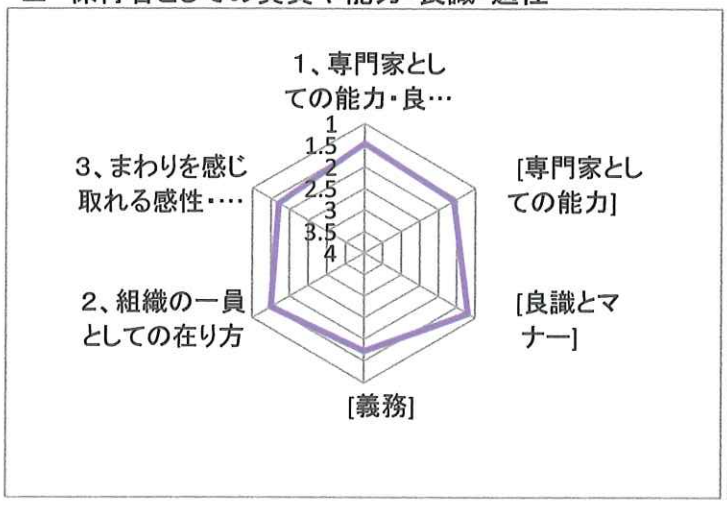
Ⅰ　教育・保育の計画性



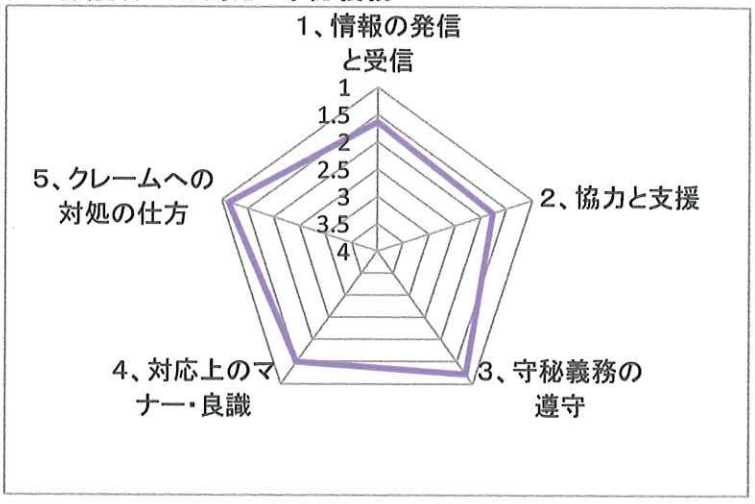
Ⅱ　教育・保育の在り方、幼児への対応



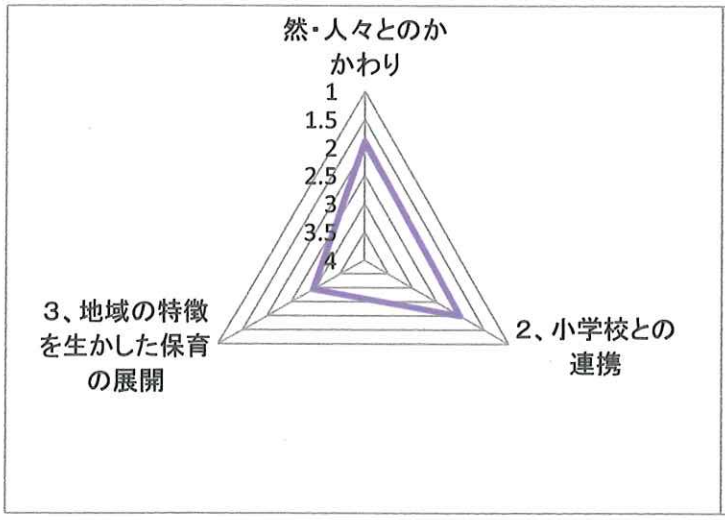
Ⅲ　保育者としての資質や能力・良識・適性



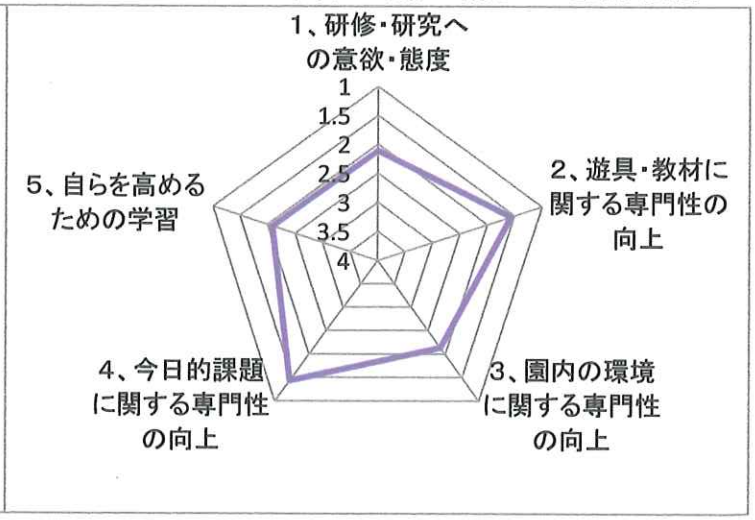
Ⅳ　保護者への対応・守秘義務



Ⅴ　地域の自然や社会とのかかわり



Ⅵ　保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度



1　よくできている
2　まあまあできている
3　あまりできていない
4　まったくできていない